

おじゃましました♪ 花椿ファクトリー株式会社 (H23.10/26)

当課事業の企業見学会・交流会で、ご本人・保護者・支援者の方を対象として(株)資生堂の特例子会社「花椿ファクトリー(株)」(以下、「花椿」)墨田作業所におじゃましました。

直接ユーザーの肌に触れる商品を扱っているため、見学者も、働いている方々と同じように白衣・帽子・靴カバーをつけ、エアーを利用した埃払い・手の消毒等を行い、緊張して仕事場へ入り、ベルトの流れに沿った仕事ぶりを見入っております。長年の積み重ねにより、ベルトの流れに沿った仕事ができるように様々な手作りの治具の工夫があり、その日に流れる製品によって業務も多様化しています。

花椿は「品質第一主義」をうたっており、「障害者だから仕方がないのではなく“きちんとしたものをつくる”ことで、年々働く皆さんの力をつけました。“仕事は厳しく、職場は楽しく!” 部署ごとに目標を掲げ達成を目指し、個々の仕事の熟成を図っており、一日も早い黒字経営を目指しています」とのことです。

見学者の質疑応答も活発に行われましたが、一番気になる「採用条件は?」に、今のところ資生堂グループでは雇用率は1.9%になっており、採用は当たらないとのことですが「①集団の中で仕事ができること②働くことの大切さを理解していること③明るい、笑顔の方」、現場からは「手順どおりの作業のできる方で、実習、トライアル雇用で徹底的に見極めを行います」とお答え下さいました。



企業の方の説明に聞き入ります

また、資生堂では1915年(大正4年)より花椿マークを商標として使ってきております。花椿マークはあらゆる商品のラベルやパッケージに表記され、「椿のマーク」=「資生堂」とし多くのお客様から親しまれてきました。

そのような伝統と格調ある「花椿」の名称を、当社の社名に使ってもよいというトップの決断をいただき、障害者の就労に対して全社的に理解、受け入れを得ていることに感激しました」と担当者の佐久間氏はお話下さいました。

- 東日本大震災で被害を受けられた関係者の方々、震災に伴う福島原子力発電所の事故による避難者の皆様に、心よりお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。
- 東京都は、今年の2月3日に帰宅困難者対策訓練を行いました。待機が安全の様ですが、どうしても帰宅しなければならない方々は?今更ですが皆さんは、いざというときの準備、心構えはできていますか・・・家族との約束事等を日々忘れないように心がけて過ごしましょう。

お知らせ

障害者就業支援情報コーナーをご利用ください! 【お問合せは TEL03-5211-5462】

障害者就業支援情報コーナーでは、障害のある方、ご家族、企業のご担当者、学校、病院関係者など、来所いただいた方のニーズや悩みを伺い、それぞれの状況とご希望に即した情報提供に努めております。どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。

また、障害者就業支援機関等で主催されるセミナー・イベントなどございましたら、是非、情報及び案内のリーフレット等をお寄せください。対象となる方々に情報として提供させていただきます。ご一報いただければ当課職員が取りに伺います。

平成24年度 上半期 委託訓練の受講生を募集しています! 【お問合せはTEL03-5211-2683】

- 知識・技能習得訓練コース(原則3ヶ月以内)
就労に必要な基礎的な知識や技能を学ぶコース
- e-ラーニングコース(原則3~6ヶ月)
通所困難な重度身体障害者を対象に在宅でIT技能を学ぶコース
- 実践能力習得訓練コース(原則3ヶ月以内)
企業等の業務に即した作業実習を中心とした実践的な訓練コース
- 在職者訓練コース(12時間~160時間)
企業等の在職者が雇用の継続に資する知識・技能を学ぶコース

事業主の方へ「障害者職場体験実習の受入れ企業」を募集しています!

障害のある方の一般就労を支援するため、就労の前段階として有効な「職場体験実習※」の受け入れにご協力いただける企業を募集しています。ご連絡いただければ当課職員が説明にお伺いいたします。
※職場体験実習は、雇用を前提にしたものに限られません。体験実習のみの場合も可能です。

※詳細はHPをご覧ください。<http://www.shigotozaidan.or.jp/shkn/>

「いんくる」の名前は、インクルーシブ(包み込む、含んだ、共生)からとっており、一人ひとりの違いを認め、尊重し合い、皆が手を繋ぎひとつになる、という意味を込めております。

4月から6月の主な行事予定と募集

事業の詳細やお問い合わせは
下記発信元・連絡先まで

対象	4月	5月	6月
障害者・支援機関	平成24年度 上半期 委託訓練受講生 募集中 申込各ハローワーク 問合せ:障害者委託訓練推進班	第1回 就活セミナー (知的対象) 5月10日(木)・18日(金)・ 24日(木)・31日(木) 9:00~12:00 東京しごとセンター ※事前申込制	第2回 就活セミナー (精神対象) 6月12日(火)・19日(火)・ 28日(木)・7月5日(木) 13:30~16:30 東京しごとセンター ※事前申込制 第1回 保護者向けセミナー 6月26日(火)午後予定 ※事前申込制 (セミナー終了後引続き) 第1回就業総合相談会 6月26日(火) 東京しごとセンター ※事前予約制
企業		第1回 職場体験実習面談会 5月25日(金) 13:00~16:00 東京しごとセンター ※事前予約制	第1回 地域障害者就労支援関係機関意見交換会 開催予定 第1回 中小企業向けセミナー 6月28日(木) 午後予定 東京しごとセンター ※事前申込制 (セミナー終了後引続き) 第1回 企業情報連絡会 6月28日(木) 東京しごとセンター ※事前予約制
	※詳細は決まり次第ホームページでご案内いたします。あわせてご利用ください。		

皆さまの情報を お寄せください!

事業主や就労支援機関の皆さまの、障害者雇用就業に向けた様々な取り組みなどの情報を、お気軽に下記連絡先までお寄せください。本紙や当財団の情報コーナーで紹介させていただきます。

発信元・連絡先 (公財)東京しごと財団 障害者就業支援課
住所:〒102-0072 千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター 8F
☎:03-5211-2681 FAX:03-5211-2329
URL: <http://www.shigotozaidan.or.jp/shkn/>

編集後記

今年度最後の発行です。皆様のご協力をいただいて無事終了しました。本当に気持ちよく取材を受けていただき感謝の気持ちでいっぱいです。当課の事業を紹介する紙面では、紹介したいことが山ほどあり、限られたスペースにどのように組み込むか、なるべく読みやすいことを第一に・・・と文章が長くなり、文字数との戦いでした。いんくる発行はまだまだ続きますが、来年度も気持ちを新たに、当課事業をよろしく願っています。

イベントがありました！

I 第4回就活セミナー(精神の方対象) (H23.12/8,15,22, H24.1/12)

「働き続けるために今日から始める就職活動」、「支援者と一緒にプロデュース」をスローガンに掲げ4回にわたり開催しました。まず、講師より面接に向けて「日々の積み重ねが大事で努力を惜しまない、就職の仲間がいることを知る、失敗を恐れない、失敗した時の対処法を知る、小さな勇気をもって望み、他人の見て自分を認める」こと等の助言があり、「面接では第一印象が70～80%です。面接とは書類で分からないところを相互に確認する場で、対等な立場でお互いに選ぶ権利があります」と緊張をやわらげるように配慮した進行で、職場のコミュニケーションと人間関係づくり、就活書類の書き方のポイント等を具体的に指導していただきました。

その他緊張をほぐすリラクゼーションや企業見学では、(株)KDDIチャレンジ様に出向き、企業説明及び採用等に関する質疑応答が活発に行なわれました。

最終回では、面接実習のロールプレイングが行われ、「最後まであきらめない、ありのままの自分を受け入れ、できることから少しずつ積み重ねていくうちに未来は見えてきます。はばたくのは自分の力で！」と講師からエールが贈られました。



リラクゼーション風景



(株)KDDI チャレンジの見学

II 第4回職場体験実習面談会 (H24.1/20)

企業10社と、職場体験実習希望者62名の参加を得て開催されました。障害のある方が就職に向けて企業の方と実際の面談を経験できる貴重な場です。以前、当課主催の就活セミナーに参加された方々も見受けられ、段階を踏んで就労に向けた活動が進められていることを感じます。

今回も自分から進んで挨拶を行っている人が多く見られ、中には挨拶を忘れ、ハツとしてやり直す姿も…本番では

気をつけましょう。そして、姿勢の綺麗な方は素敵にみえました。これは、日々の生活の心掛けで自然と身につきます。短時間の面談では第一印象が本当に大事です。これからもご参加の皆さん、就職に向けて頑張ってください。また、参加企業のご協力には感謝しつつ、今後も多数のご参加をお待ちしております。



奥の面談席と前面は待合席

III 第6回中小企業向けセミナー (H24.1/31)

「障害者の可能性にチャレンジ」という内容で、伊藤忠ユニダス(株)(以下、「ユニダス」)の萩原能成氏を講師に迎え、今年度4月に実務作業科を開設した都立中央・城北職業能力開発センター板橋校(以下、「板橋校」)の見学を組み入れて開催しました。ユニダスでは「障害者と健常者が、お互いが手を取り合って働く喜びを実感し、共に等しく生きる社会の実現化に向けて努力を重ねる」という理念でクリーニング部門、プリント部門を中心に、42人の障害のある方が働いています。「障害者の方にはできない事、不可能なことでもやらせてみます。失敗、できなくても得るものがあります。採用に関しては人間性、就労する力が大事です」そして、「企業の方は面接だけではなく、実習・トライアル雇用等積極的に活用し、十分に人間性や能力を見極めた上で採用することが望ましいです」等の助言をいただきました。

引続き板橋校の事業案内と実際の訓練現場等をみていただき、見学後は講師を交えての質疑応答が活発に行われました。



ユニダス萩原氏講演中



実務作業科見学中

東京ジョブコーチをご利用されています！

はなさく第二共同作業所に所属され、株式会社東武ストア(大師前店)に採用された小畑さん

はなさく第二共同作業所は、B型作業所で清掃を中心に活動をしています。支援者の浜山さんは、「通所されている方々の中には能力が高く、一般就労ができる方がいる」との思いからご本人を説得しながら、活用できるいろいろな情報を収集し就労支援を進めています。



入口看板と室内展示物のご利用の方々の作品です

小畑さんは、9月に当課が開催した「企業合同説明会」で株式会社東武ストア(以下、「大師前店」)の面談に臨みました。経験は清掃のみでしたが、「ご家族と行くスーパーの仕事をしてみたい」ということから同社を希望し、3次面談を経て職場体験実習に進み、11月に採用となりました。また、浜山さんは社会資源の活用として東京ジョブコーチ(以下、「JC」)に定着支援をお願いしました。新井店長は「大師前店では初めての障害者雇用でしたので、JCの支援計画の提案や実際の支援は参考になりました」とお話をして下さいました。



“かぶ”の袋詰め作業中

小畑さんは、「初めて経験する仕事なので大変です。特に包丁を使って大根をまっすぐ切ることはとても難しい。でも毎日が楽しいです」と、かぶの袋詰めを丁寧にしながら、はにかんだ笑顔で答えてくれました。一緒に働いているスタッフさんは、「よくやっています。一人で作業をしている時には、声かけをするように心がけています。必ずよい返事をしてくれて私たちの刺激になります」とお話をされました。

新井店長は、「じっくりと一つひとつの作業をきちんと覚えてもらい、最終的には指示なしで仕事ができるようにしていきたい」というお考えをお持ちなので、今後も小畑さんに、よりイキイキとステキな笑顔で活躍していただきたいと思います。

委託訓練を行っています！ “公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会”

公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会(以下、「全鍼師会」)では、公益性という立場と社会貢献をという考えから視覚障害者の方の自立に向けた訓練として、実践力と就職に向けたビジネスマナーを身につける「知識・技能習得訓練コース」を行っています。

対象者は、障害者手帳と鍼・灸・あん摩マッサージ指圧のいずれか一つ以上の国家免許保持者です。

今回伺った時は、講師の方を囲んで鍼の座学中で、治療道具の選択法から接客の具体例を良い事例のみならず、失敗例も含めてわかりやすく講義されており、経験豊富な説得力のある内容でした。訓練生の方々も「具体例を聞くことができることはありがたいです」と話されていました。担当者の和栗氏は、実践的な訓練を行うことに力を入れており、お客様相手のサービス業ということで接客マナーを重視し、講師の方は現役の方にこだわり、条件の違う立場の方々を配置し、いろいろな経験ができるように工夫されています。訓練の場は全鍼師会1階の「治療院」で訓練生同士、講師とペアを組み実習訓練を重ねていくと同時に、企業、法人、近隣の町内会等の方へもお願いをして、現場で働くことを想定した実践訓練が多く行われています。基本が大事なので繰り返すことにより自然と身につくように考えています。

平成20年開始で平成23年現在は、14名の修了生の内、就職12名とすばらしい結果がでていますが、現在の悩みは訓練の希望者が少なくなっていることで、和栗氏自ら各方面に足を運んでいらっしゃる。資格がある・ブランクがある・不安等がある方がたが就労をめざす場合は、是非委託訓練をご利用していただきたいと思います。



鍼の訓練中



マッサージの訓練中